

## 第20回

## 国際保健福祉機器展 H.C.R.'93

## 1992年以降、国際展示会を継続して開催していく

1993(平成5)年10月26日～28日

東京国際見本市会場B・C館(晴海)

- 国内企業は出展品目の広がりもあって47社増の183社に。海外69社と合わせ出展は252社に増
- 「福祉用具の研究開発及び普及促進に関する法律」(厚生大臣、通商産業大臣)が成立。「心身の機能が低下し日常生活を営むのに支障のある老人及び心身障害者の自立の促進並びにこれらの者の介護を行う者の負担の軽減を図るため、福祉用具の研究開発及び普及を促進し、もってこれらの者の福祉の増進に寄与し、あわせて産業技術の向上に資すること」を目的として法文化され、その基本方針で、普及・促進の取組例としてH.C.R.が取りあげられた
- 1992年9月にスペインのバルセロナで第9回パラリンピックが開催され、障害者スポーツの振興のため、H.C.R.特別企画「障害者と老人のスポーツ」を催した



[第20回 ポスター]

主催 全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会  
 特別協賛 日本自転車振興会  
 来場者数 56,972人  
 出展社数 252社：海外8か国69社、国内183社



## 特別感謝 20回出展会社

スズキ(株)、多比良(株)、(株)日本アビリティーズ社、  
 ピジョン(株)、(株)フツラ、(有)メディカ商会

▶ 1993年 「心身障害者基本法」を「障害者基本法」に改正

## 障害者と老人のスポーツ ～ USA スーパーチームに歓声

- 車いすバスケットのマジック・ジョンソン賞に輝いたデビット・カーリー 氏、車いすテニスの世界チャンピオンのランディ・スノウ 氏ら8人をアメリカから招へいし、日本の選抜チームとの親善試合にて、多彩なテクニックと力強いプレイを披露した
- 車いすバスケット・テニスの特設会場には、車いすダンスに使用する床パネルを敷設した。60mの陸上コースを会場のセンター通路に3コース設け、タイムトライアルも行い、コースの両サイドに来場者が詰めかけ、疾走するランナーの迫力に歓声があがった
- H.C.R. 終了後、USA 車いすスーパーチームの6人は京都に遠征し、関西チームとの親善試合を行い、陸上競技の2人は「大分車いすマラソン」に参加



## 福祉機器比較セミナー ～ 自分にあった機器を選択

- 国内外の福祉機器の品質、使いやすさ、デザインなどを比較して、購入の際に役立つ情報を提供するセミナーを開催した。車いす、電動車いす、ベッド関連、介護用品、入浴・トイレ、自助具について、出展企業がそれぞれの製品の機能を実演を交えて説明



国内出展企業アンケートではほぼ100%が「効果あり」、海外企業でも80%超が「成果あり」と回答し、また自動車での来場が可能となったこともあり、車いす利用者もさらに増えた